

ばなな組 懇談会

懇談会アンケートへのご協力ありがとうございました。ばなな組での生活も残り少なくなりますが、元気に楽しく過ごしていきたいと思えます。

クラスの様子

◎子ども同士のふれあい

まずは、子どもたちにとって保育園が安心して生活できる場であると感じてもらえることを大切に考えて保育を行ってきました。日々過ごす中で自分の好きな遊びを楽しみだし、自分の世界が豊かになっていき、お友だちの存在にも次第に気づいていきました。クラス内のお友だちや異年齢児の遊びを模倣し、その中で一緒に遊ぶ姿が見られるようになりました。玩具の貸し借りでは「かして」「どうぞ」のやりとり、お友だちが転んでしまった際には「だいじょうぶ?」「ありがとう」など言葉のやりとりをしている姿が見られるようになりました。言葉の獲得が少しずつ進んでいますが、まだ、完璧に自分の気持ちを言葉で表現する事はできません。その為、絵本や玩具の取り合いをしたり、できない事や不満を言葉で表せず、時には涙が溢れてしまったり手がでてしまうこともあります。そんな時は「〇〇したかったね」と子ども一人一人の気持ちを受けとめながら、穏やかに語り掛け共感していく中で、「〇〇ちゃんも〇〇したいんだって」など相手の思いの言葉を添えて、自分の思いと他人の思いに気が付くような関りを大切にしています。

◎遊び

子どもたちにとって遊びは生活の一部です。遊びが学びに繋がり、それらが成長へとつながっていくと信じ、園庭遊び、散歩などさまざまなことを一年を通して行ってきました。描画では、始めは握り持ちをして色がつくことを楽しんでた子ども達が、次第に丸や線など自分で思い描いてみたものが描けるようになっていきます。築山遊びでも一人で登って滑る楽しさを味わうこともあれば、互いに手を伸ばし合い、お友達と一緒に登る楽しさを感じている姿も見られています。一見同じように繰り返される遊びの中でも、子ども達が日々成長している姿に保育者も驚かされてばかりです。

◎生活(食事、睡眠、排泄、身の回りの事)

★食事

「ご飯の準備しよう」「お腹空いたね～」と保育者の声掛けで手を洗ったりエプロンをつけたりと、自分でできる準備はやってみようとする姿が見られています。また、お友だちのエプロンを見つけて配ってくれたり、エプロンをつけてあげたり、子どもたち同士の関わりも見られています。食事はその日の子どもたちの様子によって、みんなで一斉に食べ始めたり、遊び終えた子どもから少人数ごとに食べ始めたりとさまざまです。食べながら「おいしい」と言葉で感想を教えてくれたり、「いっしょだね」とお友だちと同じものを一緒に食べていることを意識している様子もあります。

味覚の発達により、これまで食べていたものを急に食べなくなるという姿も見られますが、他の食材から栄養を取るのであまり気にしすぎず、ひと口だけ食べてみようかな、と思えるように様子を見ながら声をかけています。

★睡眠

園での午睡時間は昼食を食べ終えた12時頃～15時の約3時間です。睡眠時間は子どもによってさまざまですが、その日の活動内容や体調によって睡眠時間が異なっています。眠れない、早く起きる、そのような

場合でもコットベットに身体を横にして休む時間としています。それは休息することで体力の回復や疲れを取る大切な時間であり、午睡から目覚めた後も怪我をせず楽しく遊べるよう準備をしておくことを大切にしているからです。

しかし、眠れない子どもやあまり眠らなくても大丈夫な子どももいます。どのくらい睡眠時間をとればその子が機嫌よく遊べるのかを知り、それを目安に理想の睡眠リズムを作っていけると良いと考えています。午睡時の入眠は、食事を終えると自らコットベッドに向かい眠る子ども、保育者に身体をさすってもらったり、手でトントンと身体を揺らしてもらったりすることで眠りにつく子どももいます。一人一人、心地よい空間は様々ですが、保育者が心地よいトーンで語りかけたり、電気を消してカーテンを閉め、部屋を暗くしたりすることで睡眠へと誘っています。

★排泄

園では朝の牛乳前(9:20頃)、昼食前(11:00頃)、午睡後(15:00)、夕方(16:30頃)で一人一人に声を掛けています。排尿できなくても座っているだけでお兄さん、お姉さん気分になれるようでニコニコしている子ども達です。その時の気分などもあるので無理なく進められたらと思っています。乳児期は個人差があるため、月齢ではなくあくまで一人ひとりの発達に応じて家庭と園とで連携して進めていきます。また、トイレに行くことが苦手な子どもや、行きたくない時があると思います。そんな時は、キャラクターの写真を便座に座って見える位置に貼っておくなど、その子のお気に入りの空間を作ってあげることで、トイレに“行ってみようかな”という気持ちを引き出すきっかけ作りになるかもしれませんね。

★身の周りのこと

園庭に遊びに行くための準備やご飯を食べる前の手洗いや着替えなど、簡単な身の回りの事を「自分でやってみよう」と思えるように、保育者が難しいところをさりげなく手伝い、できた時には「できたね！嬉しいね！」と一緒に喜びながら生活しています。

「できる」「できない」という事実よりも、今は「自分の事が自分でできる事を喜び、もっとやってみよう」と思える気持ちの育ちを大切にしています。時には、「せんせい、やって」と甘えてきてくれる姿も見られます。その気持ちも十分に受け止めながら、生活の中で少しずつできる事が増えて、気付けば「できる事がこんなに増えた！」「大きくなって、こんなにできるようになった！」という自信が持てるようになっていきたいと思います。その日の気分によっても、一歩進んだり下がったり。ゆったりと成長を見守っています。

子ども達が扱いやすい物をご用意いただけるように、日々の様子から、お洋服などについてお声掛けさせていただく事があるかと思っています。また、ご準備いただく際に分からない事はお声掛けください。いつもご協力をありがとうございます。

◎進級について、お願い

・2歳児みかん組

イヤイヤ期真っ盛りで、なんでも「やだ」とすることがあったり、自分の思いと葛藤したり、保育者だけではなく、友達と一緒に関わり、遊ぶことの楽しさを知る年齢です。また着脱や排泄をし、自分でできることが増えた喜びや達成感を感じて自立へ向かう時期です。

新たに用意していただく持ち物や準備手順に大きな変更はございません。何かありましたら随時お知らせいたします。

※衣服や靴のサイズなど確認をお願いいたします。

※持ち物にはすべて大きくはっきりと記名をお願いいたします。